
バカとゲートと自衛隊

紅優也

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バカとゲートと自衛隊

【Nコード】

N7302Z

【作者名】

紅優也

【あらすじ】

これは作者が読んで面白いと思った作品『ゲート』自衛隊は彼の地にて、斯く戦えり』に明久達を乱入させた作品です。マイナー作品かもしれませんが取り敢えず頑張ります

プロローグ（前書き）

始まりはばか騒ぎの後始末

プロローグ

第三者SIDE

「……何でこんなとんでもなく荒唐無稽かつ非道過ぎるアイディアを受け入れたんですか学園長!!」

『ドン!!』と文月学園学園長室で現代に生きる鬼こと文月学園の生徒指導担当教師『西村宗一』はついさっき文月学園学園長『藤堂カヲル』から見せられた『国』からの命令書を見て机を叩きながら啖呵を切った。

「そうです!!」

幾ら『Fクラス』の子達が『吉井』君や『坂本』君達を追って自衛隊の基地に乱入して備品を壊したからってその罰がこれですか!?!
文月学園の二年学年主任である『高橋洋子』もこれに続き国の命令書を非難する。

「あんだ達の言いたい事も解るさね……だけどね……国は……文部省は武器を持った生徒が入る学園自体が悪いと考えているらしくてねえ……文月学園を潰さない代わりに問題を起こした生徒達を戦場に出せと言っているのさ……」

普段生徒から（主に『吉井明久』及び『坂本雄二』から）は『妖怪』やら『くそババア』やら『ババア長』やらと言われている学園長の藤堂はげんなりとした顔で二人の批判にため息を吐きながら答える。

「だからといって……!!」

「悪いけどね西村教諭、あんたや高橋教諭にも責任があるよ。」

異端審問会通称『FFF団』なんていう武装団体を放つといたんだからね。」

「ぐ……！」

「そ、それは……」

藤堂の反撃に二人は何も言えなかった。

事実二人はFFF団の犯行（主に暴力等）を止めなかったが為に今回の事は起きたと言える。

「悪いけど今回は誰に言われても決定は変えるつもりは無いよ。

スポンサーの一つである『霧島財閥』から言われようが『如月グループ』から言われようが変えたらその瞬間FFF団は只の非合法の武装団体だ。

あんた達が止める事はあいつらをテロリストとして殺されるって言うようなもんだよ！！

あたしだって悔しいさ、生徒を無理矢理戦場に出すんだからね！

だけど政府は生徒達を学徒出陣の様な形で『特地』に送り出す事で自衛隊に発破をかけようとしてんのさ！

『お前達は学園から無理矢理派遣された学生達を守りながら特地で活動しろ』って言われてしかも守る対象を見て頑張らない奴が入るかいい！？」

ドンと机を叩き学園長は悔し涙を流しながら言う。

「学園長……」

「西村教諭に高橋教諭、これは命令さね。

絶対にFクラス以外にはこれを知らせちゃいけないよ。」

気迫が入っている学園長の言葉に西村は悔しそうな表情をしつつ決断した。

「解りました。

このような日本からのふざけた命令を受け入れるのは本意ですがあいつらなら……『吉井』達Fクラスの奴等なら全員無事に生きて

帰ると信じています。」
最も奴等なら特地の人々と仲良くなってそのまま永住なんていう馬鹿げたことにも成りかねませんがね。と付け足し西村は苦笑いをする。

「はあ……元を辿れば彼等が原因ですし本来は武装団体として処罰されてもおかしくない事もしましたしね特地で扱かれて一皮も二皮も剥けて帰ってきてほしいです。」
最も向こうの人の恋愛が向こうとの懸け橋になるかもしれないという希望的観測（後にその希望的観測が現実になるとは思ってもみなかった高橋である）もありますかね。とあくまでも知的に答える高橋。

両方とも本来は生徒を戦場になど出したくないのだが二人ともFクラスのメンバーなら戦場でも生き残れるだろうと信頼しているのである。

「そうかい……じゃあ決まりだ！」
そういつて出来るだけ明るい雰囲気を出す藤堂に……

ドバン！！

「何でこんな貼り紙が校門に貼られてるか説明してもらおうぞババア！！」

藤堂を口汚く罵りながら問題のクラスの代表と学園開設以来の馬鹿のタッグが貼り紙を翳しながらドアを蹴り開けた。

そこには……

『吉井明久、坂本雄二目下Fクラス全男子はゲートを通り特地にて先行した自衛隊の増援を命ずる。』

文月学園長藤堂カヲル』

と、書いてあった。

「既に全校生徒にバラしてた!?!」

「奇襲は鼻先でかますもんさね。」

驚愕する西村と高橋に藤堂は悪戯が成功した子供の様に笑った。

因みにこの後西村と高橋の説教をくらったのは言うまでもない。

『バカとゲートと自衛隊』

これは色々な意味で限界を突破しているオタク自衛官と馬鹿だ本当は仲間に対して無限の思いやりを持つ学生達が異世界の美少女達と出会い世界を救う(?)してしまう絆の物語

プロローグ（後書き）

如何でしたか？

次回はゲートの主人公と明久達が出会います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7302z/>

バカとゲートと自衛隊

2011年12月24日06時46分発行